

## 平成27年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	16. インクルーシブ教育推進モデル事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	指導課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	14,848
臨時	補助	計画	0	0	6,396	第3章 基本施策7 施策1	「心豊かな人づくり、まちづくり」～教育の充実、 スポーツ活動の推進～	14,848
							心の教育が充実したまちにします	平成23年度 0
								平成24年度 0
								平成25年度 0
							心を育てる学習を充実します	平成26年度 14,848
							平成27年度 0	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	13,472	
本年度当初査定額	11,502	11,502

財源内訳	国庫支出金	道庁支出金	市支出金	県支出金	国庫等	その他	一般財源
本年度当初要求額	0					13,472	△13,472
本年度当初査定額	11,502					0	0

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) ・インクルーシブ教育推進に係る運営協議会を開催します。 ・先進地の教育委員会や教育センターなどの視察を行います。 ・言語教育について専門性が高い人材を学校支援コーディネーターとして雇用し、併せて児童がICTを活用した効果的な言語教育を行うことにより、ことばの発達に躓きのある児童の改善を図ります。 ・教員を対象とした研修や研究授業を行い、言語教育の内容及び方法の改善を図り、教員の専門性を高め、適切な指導へつなげます。</p>	<p>(事業の目的) ・地域で専門的な知識や技能をもつ人材を学校に活用したり、言語通級指導教室設置校がセンター的機能を果たし、理解啓発のための取り組みを行ったりすることで、ことばの発達に支援が必要な児童生徒のニーズを正しく理解し、合理的配慮に基づく、適切な支援が受けられるようにします。 ・関係機関が連携体制を築くことで、ことばの発達に特別な支援が必要な児童生徒が、手厚い支援を早期から継続的に受けられる市独自の体制</p>	<p>(事業の効果) ・市内で多くの教師が児童生徒の教育的ニーズを正しく理解し、適切な支援を行うことで、ことばの発達に支援が必要な児童生徒への教育的効果を高めます。 ・特別な支援が必要な幼児児童生徒を支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えます。 ・適切な人材及び教材を活用することで、ことばの発達における教育力</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	6,526	7,542	△1,016
08	446	391	55
09	90	21	69
11	301	659	△358
13	1,680	2,016	△336
14	2,354	2,354	0
18	105	263	△158

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	14	03	03	01	01	00	インクルーシブ教育システム構築モデル事業委託	13,472	11,502	13,247	△1,745
	差引一般財源							△13,472	0	△13,247	13,247